

「世界の記憶」登録 5 周年記念イベント

記念事業①

上野三碑の特別公開



普段はガラス越しに見学している三碑を直接見ることができる、貴重な機会です。当日は、ボランティアによる案内・解説を行います。

●日時= 10月30日(日)・31日(月)、午前9時～午後3時 ●会場=山上碑(山名町)、多胡碑(吉井町池)、金井沢碑(山名町) ●費用=無料
上野三碑ボランティア3団体感謝状贈呈式

日頃から三碑の保存・普及活動に尽力しているボランティア3団体「上野三碑ボランティア会」「山上碑・金井沢碑を愛する会」「NPO法人上野三碑をつなぐ会」へ、感謝状を贈呈します。贈呈式中は、多胡碑の見学はできません。

●日時= 10月31日(月)午前11時～11時20分 ●会場=多胡碑前

記念事業②

上野三碑かるた大会

上野三碑普及推進会議と市教育委員会、NPO法人上野三碑をつなぐ会は、上野三碑かるた大会を開催します。本大会では、小学生と中学生以上に分けて対戦相手を決定します。参加申し込みをすると、練習用に上野三碑かるたをプレゼント。さらに、勝った人には賞品も用意しています。ぜひ気軽に参加してください。

●期日= 11月3日(祝) ●時間と内容 ①午前10時～正午=2人1組のチーム戦 ②午後2時～4時=個人戦 ●会場=吉井運動公園体育館 ●対象=①小学4年生以下の子どもと大人②小学5年生以上の人 ●定員=先着①50組②50人 ●費用=無料 ●申し込み=9月22日(木)～10月17日(月)に、電話で文化財保護課へ



多胡碑記念館の企画展

知りたい！多胡郡正倉～多胡碑周辺遺跡の調査から～

■会期=10月8日(土)～11月27日(日) ■会場=多胡碑記念館(☎387-4928)

多胡碑記念館は、市教育委員会が平成24年から調査している多胡碑周辺遺跡や、調査の過程で発見された「上野国多胡郡正倉跡」について紹介する企画展を開催します。

上野国多胡郡正倉跡(吉井町池)は、多胡碑の南で発見された、瓦葺きの正倉の遺構を含む遺跡です。正倉とは古代の役所の一部で、税として集めた米などの穀物を保管する倉庫のことをいいます。調査によって、上野国多胡郡正倉跡が多胡碑と同じ奈良時代に造られた正倉院であることが事実となり、歴史的価値の高い重要な遺跡と認められ、令和2年に国の史跡に指定されました。

本展では、多胡郡正倉跡で出土した瓦などの資料や、遺構の写真などを展示します。展示物をじっくり観察し、約1,300年の歴史に思いをはせてはいかがでしょうか。

●開館時間=午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで) ●休館日=月曜日(10月10日・31日を除く)、10月11日(火) ●観覧料=無料



出土瓦による屋根瓦の復元

	<p>山上碑 やまのつえひ 681年建立</p> <p>完全な形で残っているものとしては日本最古の石碑。刻まれた漢字53字は、日本語の語順で読むことができる。僧侶の長利が、亡き母の黒壳刀自を供養するために建てたもの。黒壳刀自は隣接する山上古墳に葬られたと考えられており、供養の石碑と古墳が残る国内唯一の例</p>
	<p>多胡碑 たごひ 711年頃建立</p> <p>日本三古碑の一つ。石碑は、笠石・碑身・台石からなり、80字が刻まれている。当時の中央政府の命により、多胡郡が新設されたことを記念して建てられたもの。その優れた書風は、江戸時代に朝鮮通信使を通じて中国でも評判となった</p>
	<p>金井沢碑 かないざわひ 726年建立</p> <p>古代豪族三家氏が、先祖供養のため建立したもので、仏教によってつながった人々の様子が刻まれている。三家氏は山上碑に記された「佐野三家」(ヤマト政権の地方支配拠点)を管理した豪族の末裔とみられる。初めて「群馬」の文字が使われた</p>

平成29年10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑。飛鳥から奈良時代に建てられた「山上碑」「多胡碑」「金井沢碑」の総称で、現存する日本最古の石碑群です。全国に残る古代碑・石塔はわずか18例で、そのうちの3つの碑が市内の直径3キロの範囲に集中。その関連性などから読み解ける歴史的価値は非常に高く、いずれも国宝と同じ価値のある、国の特別史跡に指定されています。

上野三碑が「世界の記憶」に登録されて、今年で5周年を迎えます。これを記念し、三碑の特別公開や上野三碑かるた大会、多胡碑記念館の企画展など、さまざまなイベントが行われます(左ページ参照)。また、県立歴史博物館

平成29年10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑。飛鳥から奈良時代に建てられた「山上碑」「多胡碑」「金井沢碑」の総称で、現存する日本最古の石碑群です。全国に残る古代碑・石塔はわずか18例で、そのうちの3つの碑が市内の直径3キロの範囲に集中。その関連性などから読み解ける歴史的価値は非常に高く、いずれも国宝と同じ価値のある、国の特別史跡に指定されています。

上野三碑が「世界の記憶」に登録されて、今年で5周年を迎えます。これを記念し、三碑の特別公開や上野三碑かるた大会、多胡碑記念館の企画展など、さまざまなイベントが行われます(左ページ参照)。また、県立歴史博物館

無料のバスを運行中です
10月30日・31日は増便

多胡碑・山上碑・金井沢碑を結ぶ無料の巡回バス「上野三碑めぐりバス」を運行しています。上信電鉄吉井駅を起点に、およそ45分間隔で1日8往復を運行。10月30日(日)・31日(月)は、15往復に増便します。運行予定など詳しくは、市ホームページで確認できます。バスの運行状況などに関する問い合わせは、上信ハイヤー(☎322-1212)へ。

市ホームページ

ユネスコ「世界の記憶」登録5周年

本市が誇る歴史遺産・上野三碑

貴重な歴史遺産である、古代の3つの石碑・上野三碑。平成29年にユネスコ「世界の記憶」に登録され、今年で5周年を迎えます。

今回号では、上野三碑の概要と、5周年を記念したイベントについてお知らせします。問い合わせは、文化財保護課(☎321-1292)へ。

平成29年10月31日にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑。飛鳥から奈良時代に建てられた「山上碑」「多胡碑」「金井沢碑」の総称で、現存する日本最古の石碑群です。全国に残る古代碑・石塔はわずか18例で、そのうちの3つの碑が市内の直径3キロの範囲に集中。その関連性などから読み解ける歴史的価値は非常に高く、いずれも国宝と同じ価値のある、国の特別史跡に指定されています。

